

**用紙対応力を強化し成果物の多様化と作業の効率化を実現する旗艦モデル
プロダクションプリンター “imagePRESS C10010VP” など 2機種を発売**

キヤノンは、プロダクションプリンター「imagePRESS（イメージプレス）」シリーズの新製品として、“imagePRESS C10010VP/C9010VP”を2020年10月中旬に発売します。



imagePRESS C10010VP

商業印刷の現場では、依頼主からの幅広い要望に応えるため、多種多様なグラフィックアーツ成果物への対応力が求められています。新製品“imagePRESS C10010VP/C9010VP”（出力速度はそれぞれ毎分100枚、毎分90枚。ともにA4ヨコ）は、従来機種^{※1}の高画質・高信頼性・高生産性を継承し、さらに長尺用紙や厚紙、合成紙などの用紙への対応力を強化しました。重厚感のある厚紙の名刺、合成紙を用いた耐水・耐久性に優れた飲食店のメニューなど、さまざまなグラフィックアーツ成果物を作成できます。また、長尺用紙の自動両面印刷および1,000枚の大量給紙にも新たに対応しました。三つ折りメニューのような両面の長尺成果物を大量に印刷する場合でも、給紙の手間をかけずに容易に作成できます。これらの機能拡充により、商業印刷を営むお客様のビジネス拡大を支援します。

■ 対応用紙の種類を拡張しグラフィックアーツ成果物の多様化を実現

用紙の搬送力向上により、400g/m²までの厚紙に対応可能となり、重厚で高級感のある名刺やポストカードなども作成できます。また、合成紙への対応も強化し、耐水・耐久性が求められる飲食店のメニューなどの印刷も可能です。

■ 対応長尺用紙の拡張と自動両面印刷・自動給紙により長尺成果物の多様化を実現

最長1,300mm（片面）までの長尺用紙に対応^{※2}し、長尺POPや中吊りポスターなどを作成することが可能です。また、最長762mmまでの長尺用紙の自動両面印刷に対応することで、A4サイズ3面の見開き折りのメニューやパンフレットなどの両面印刷物も容易に作成できます。さらに、「POD デッキライト XL-A2」（2020年10月下旬発売）との接続で最長762mmの長尺用紙（300g/m²）を1,000枚まで給紙でき、大量の長尺用紙の連続印刷が可能です。従来、手作業で行っていた長尺用紙の両面印刷と給紙の手間を削減し、長尺成果物の大量印刷を可能にします。

製品名	希望小売価格（税別）	発売日
imagePRESS C10010VP	2,500万円	2020年10月中旬
imagePRESS C9010VP	1,800万円	

※1 「imagePRESS C10000VP/imagePRESS C8000VP」（2015年10月発売）。出力速度はそれぞれ毎分100枚、毎分80枚（ともにA4ヨコ）。

※2 「長尺用トレイ・D1」（別売り）装着時。

●一般の方のお問い合わせ先：キヤノンお客様相談センター

050-555-90053

●imagePRESS ホームページ：canon.jp/imagepress

<imagePRESS C10010VP/C9010VP の主な特長>

1. 対応用紙の種類を拡張しグラフィックアーツ成果物の多様化を実現

- ・用紙の搬送力を向上し、400g/m² までの厚紙にも対応可能。高級名刺やポストカードなどの重厚で高級感のある印刷物も作成可能。
- ・合成紙への対応も強化。耐水/耐久性が求められる飲食店のメニューなどの印刷も可能。
- ・用紙にトナーを転写する中間転写ベルト (ITB) に弾性素材を採用することで、エンボス紙や再生紙などの表面に凹凸のある用紙でも高品位な印刷が可能。



一覧性の高い長尺の案内図



重厚感のある
厚紙のポストカード



耐水/耐久性に優れた
合成紙のメニュー

2. 対応長尺用紙の拡張と自動両面印刷・自動給紙により長尺成果物の多様化を実現

- ・用紙の安定した搬送を実現するために、用紙搬送路を直線にしたストレートパスを採用。最長 1,300mm (片面) までの長尺用紙に対応[※]し、長尺 POP や中吊りポスターなどを作成可能。
- ・最長 762mm までの長尺用紙の自動両面印刷に対応。A4 サイズ 3 面の見開き折りのメニューやパンフレットなどの両面印刷物も容易に作成可能。
- ・「POD デッキライト XL-A2」(2020 年 10 月下旬発売) との接続で、最長 762mm の長尺用紙 (300g/m²) を 1,000 枚まで給紙でき、大量の長尺用紙の連続印刷が可能。

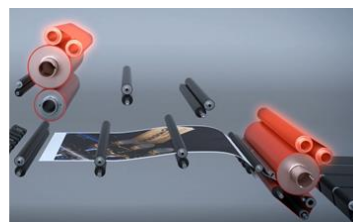
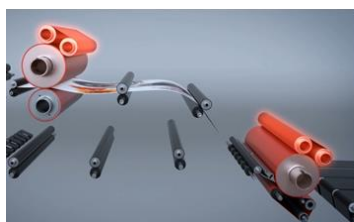
※ 「長尺用トレイ・D1」(別売り) 装着時。



「POD デッキライト XL-A2」接続時

3. 印刷業務の生産性向上により短納期化に貢献

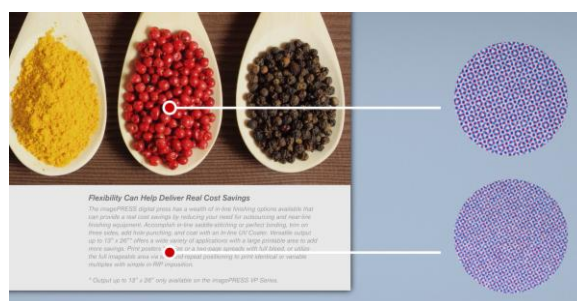
- ・用紙の種類により搬送経路を変えるデュアル定着システムを採用。厚さの異なる用紙が混在する冊子やパンフレットなども出力速度を落とすことなく印刷可能。
- ・内蔵の分光センサーにより、ボタンを押すだけで簡単に色味の確認やエンジン/コントローラーの色味調整ができ、測色器による測色の手間を削減。
- ・POD デッキにエア給紙機構を搭載。紙同士が貼りつきやすいコート紙でも重送を抑え、安定した大量給紙を実現。用紙の重送が発生した場合でも、重送検知機能により重送した用紙を POD デッキ上部のエスケープトレイに排出。自動で再給紙することにより、生産性向上に貢献。



デュアル定着システム (イメージ) 左: 厚紙・コート紙の搬送経路、右: 薄紙の搬送経路

4. 高精細・高品位な成果物を出力可能

- ・32本の赤色マルチレーザーを照射する「R-VCSEL (Red-Vertical Cavity Surface Emitting Laser)」を採用したレーザースキャナーを搭載することにより、プリント解像度 2,400dpi×2,400dpi の高精細な画質を実現。文字や細線の忠実な再現や、粒状感を抑えた滑らかな表現が可能。
- ・写真などの画像と文字を判別し、適切なスクリーンを自動で選択。粒状感が少ない滑らかな人肌の表現や、読みやすいくっきりとした文字の印刷が可能。また、画像の種類に適したスクリーンを任意に選択が可能。高品位で高精細な印刷を実現。
- ・印刷中にリアルタイムで濃度補正を実行する「Multi D.A.T. (Multi-Density Adjustment Technology)」を搭載。大量印刷時も生産性を保ちながら色味の変動を抑え、高品位な成果物を安定して提供。
- ・斜送レジユニットによる用紙位置の補正ができ、高い位置合わせ精度を実現。



写真と文字を判別し選択された適切なスクリーンの拡大図（イメージ）

<カラープロダクションプリンターの市場動向>

近年、市場ではポスターやカタログなどのグラフィックアーツの短納期やオンデマンド印刷、バリエブルデータ印刷への需要がますます強まっています。そのため、高い生産性や正確な色再現性、色安定性に加え、幅広い用紙への対応など、プロダクションプリンターに対する市場の要求はより高まってきています。カラープロダクション市場向けカラープリンターの 2019 年の市場規模は世界市場で約 6 万台でした。2020 年は約 5 万台の規模になると予想しています。（キヤノン調べ）

<主な製品仕様>

各モデルの製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。